

三原市
在宅介護実態調査

令和8年7月

三 原 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
	A票 調査対象者様ご本人について.....	2
	B票 主な介護者の方について.....	10

I 調査の概要

1 調査の目的

高齢者を地域で支え合い、安心して暮らせる体制づくりを進めるために、介護を行っている方（介護者）の実態把握を目的に実施しました。

2 調査対象

在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている者及び当該支援をしている者

3 調査期間

令和7年11月1日（土）～令和8年5月14日（木）

4 調査方法

在宅介護実態調査：郵送・ケアマネジャーによる配布・回収

5 回収状況

調査票の種類	回収数
在宅介護実態調査	677件

6 調査結果の表示方法

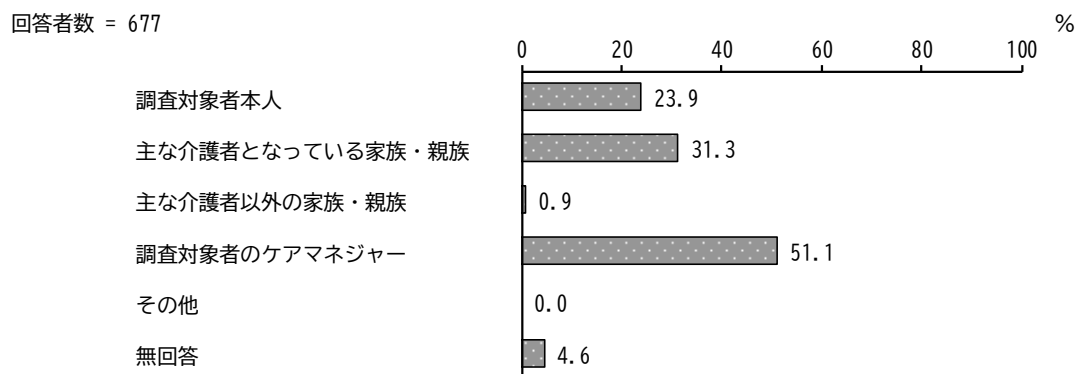
- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

A票 調査対象者様ご本人について

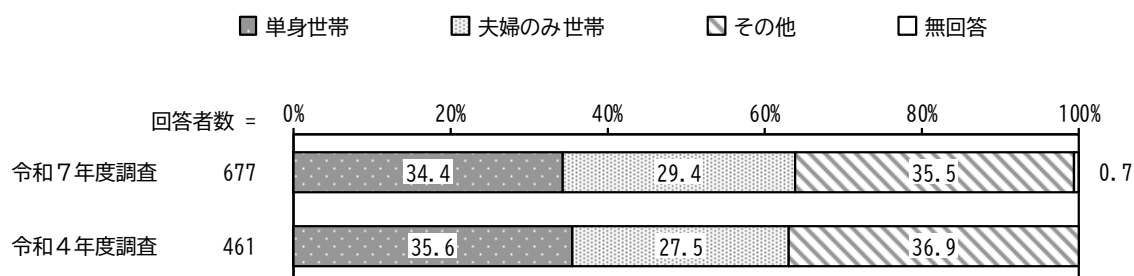
現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（複数選択可）

「調査対象者のケアマネジャー」の割合が51.1%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」の割合が31.3%、「調査対象者本人」の割合が23.9%となっています。



問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

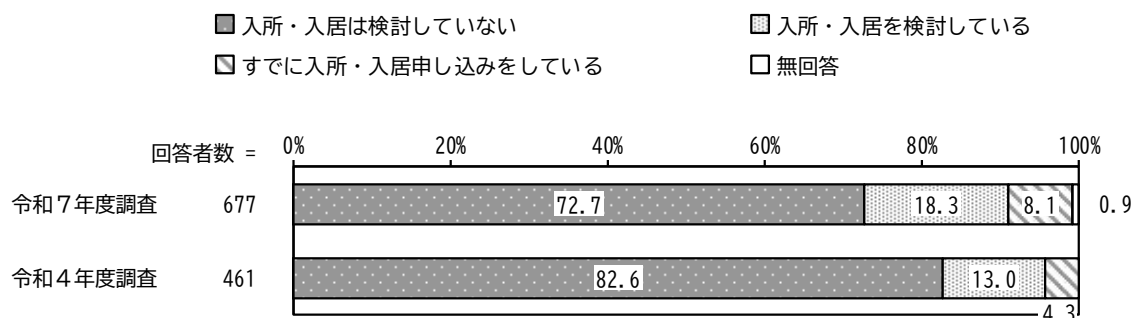
「単身世帯」の割合が34.4%、「夫婦のみ世帯」の割合が29.4%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

「入所・入居は検討していない」の割合が72.7%、「入所・入居を検討している」の割合が18.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が8.1%となっています。

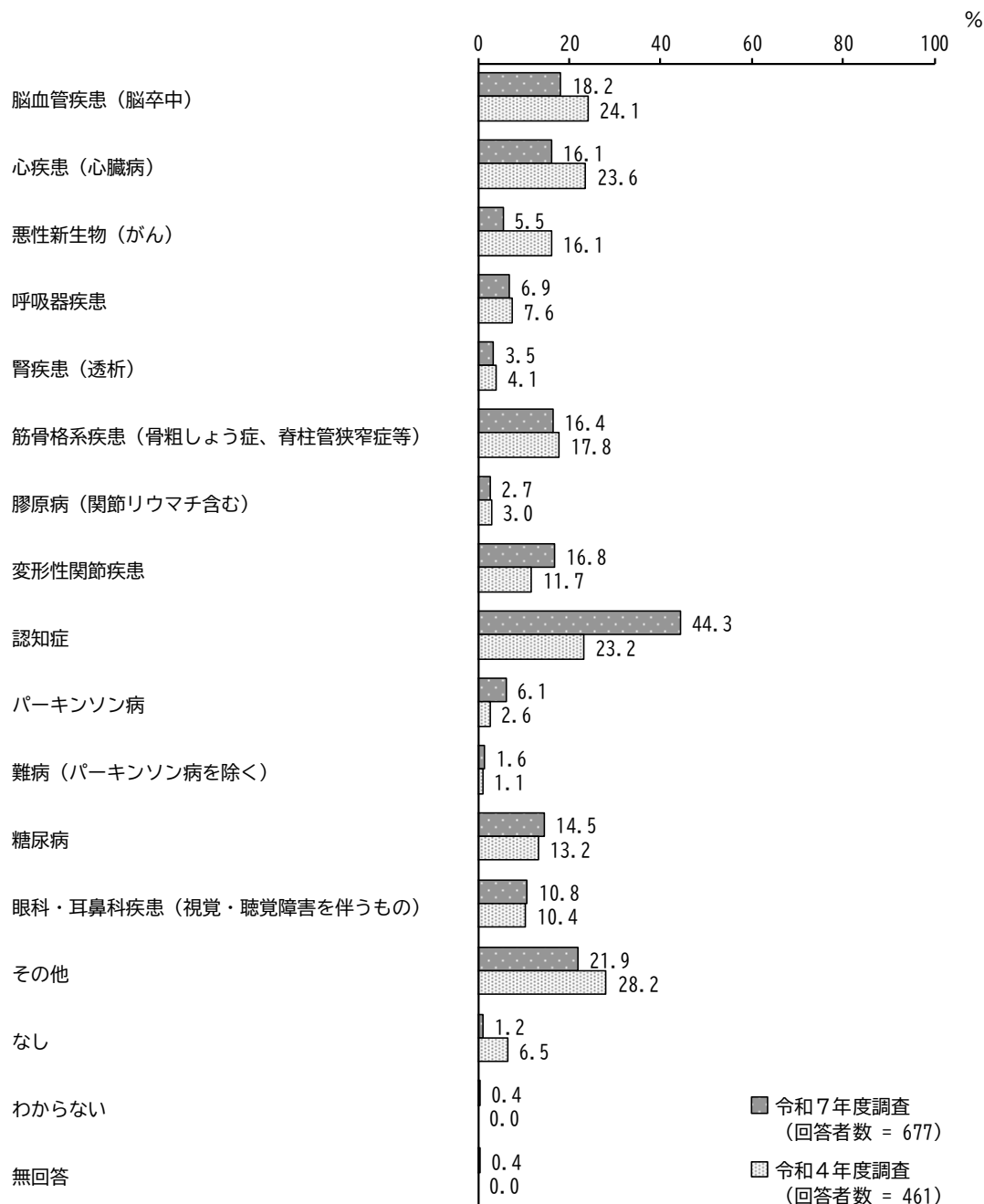
令和4年度調査と比較すると、「入所・入居を検討している」の割合が増加しています。一方、「入所・入居は検討していない」の割合が減少しています。



問3 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（複数選択可）

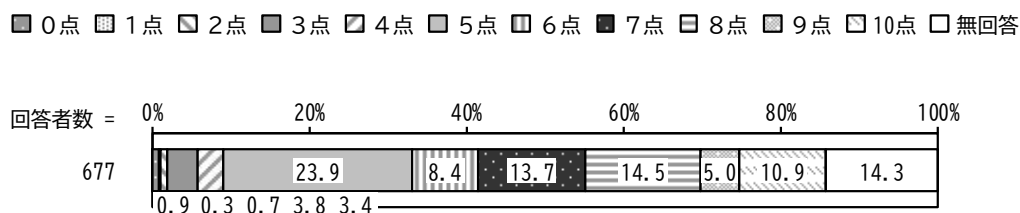
「認知症」の割合が44.3%と最も高く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」の割合が18.2%、「変形性関節疾患」の割合が16.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「変形性関節疾患」「認知症」の割合が増加しています。一方、「脳血管疾患（脳卒中）」「心疾患（心臓病）」「悪性新生物（がん）」の割合が減少しています。



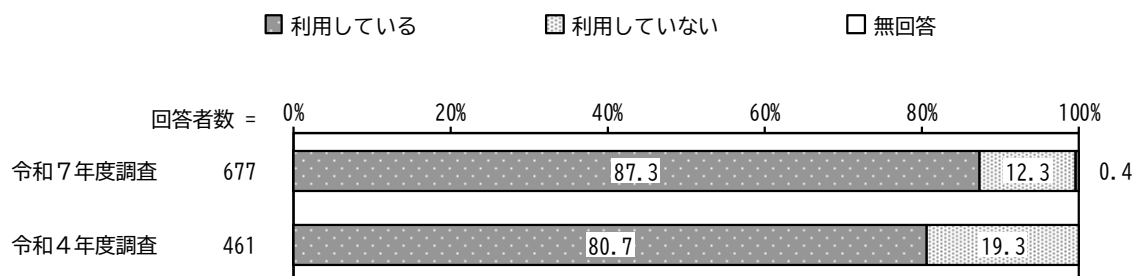
問4 あなたは現在幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください。

「5点」の割合が23.9%と最も高く、次いで「8点」の割合が14.5%、「7点」の割合が13.7%となっています。



問5 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(1つを選択)

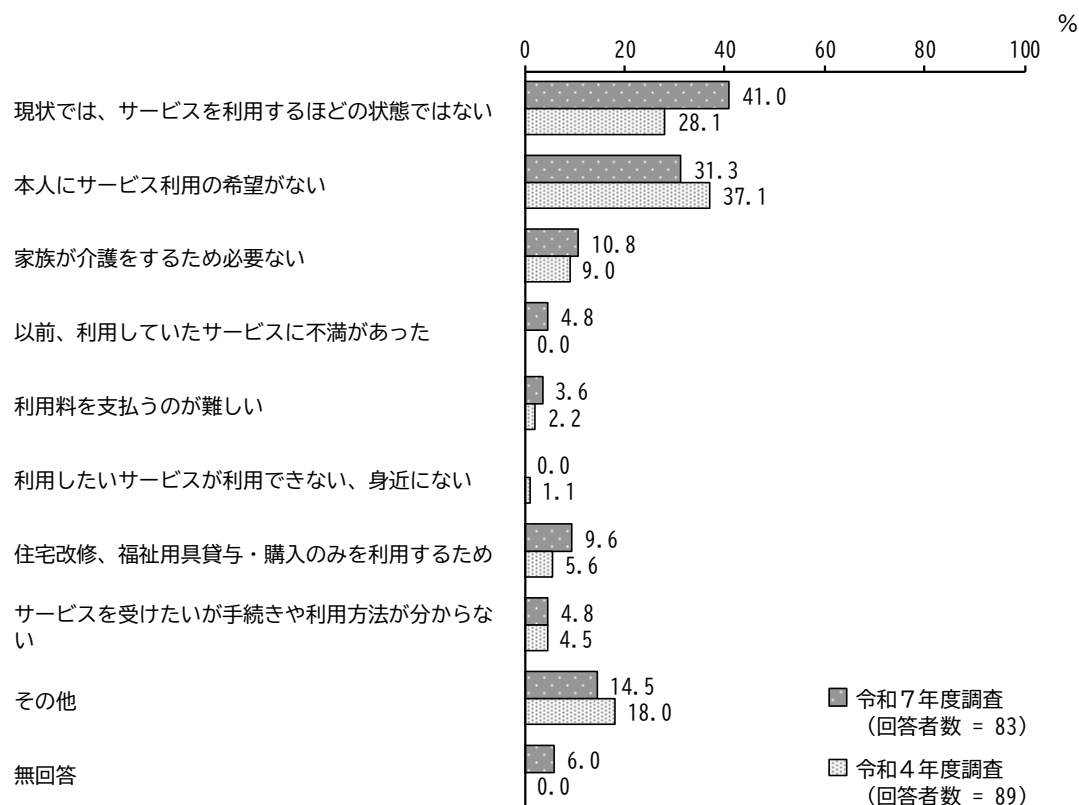
「利用している」の割合が87.3%、「利用していない」の割合が12.3%となっています。令和4年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。



問6 問5で「利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が41.0%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が31.3%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が10.8%となっています。

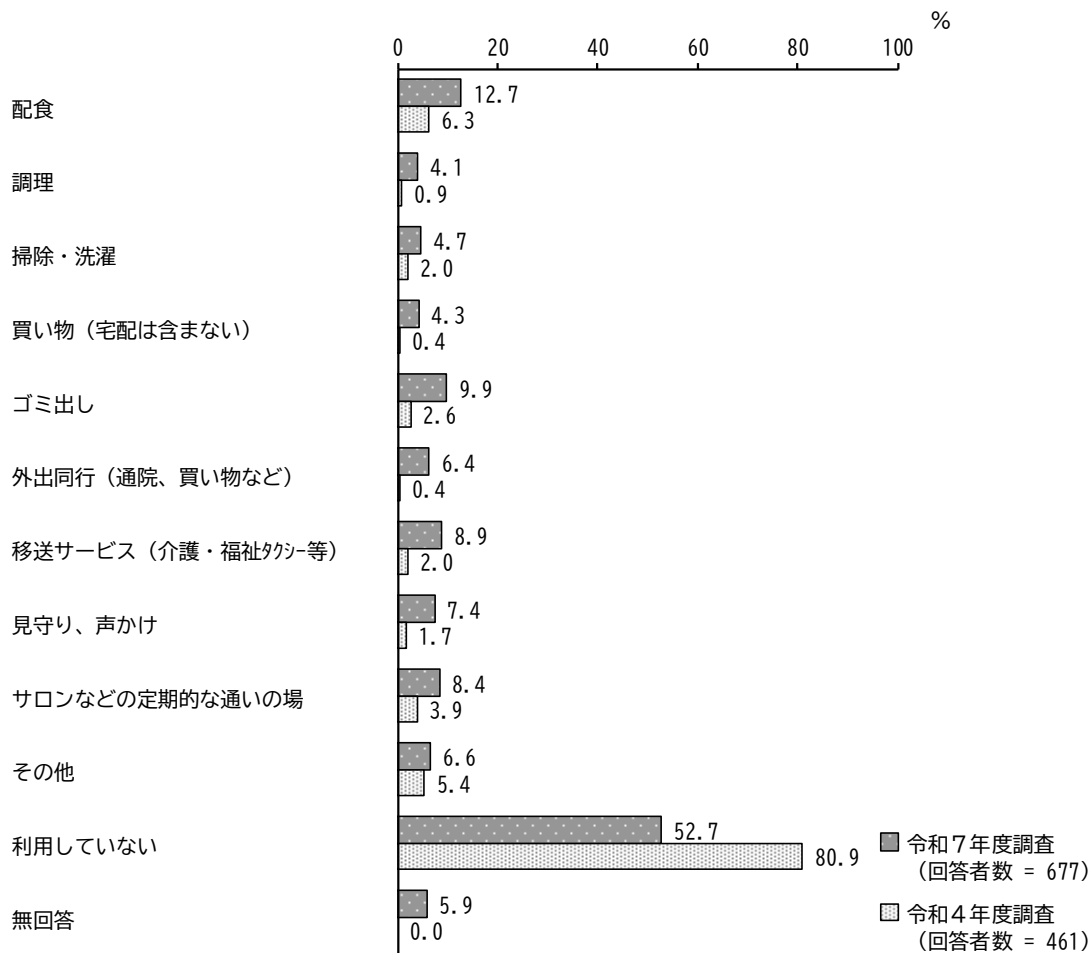
令和4年度調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が増加しています。一方、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が減少しています。



問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

「配食」の割合が12.7%と最も高くなっています。

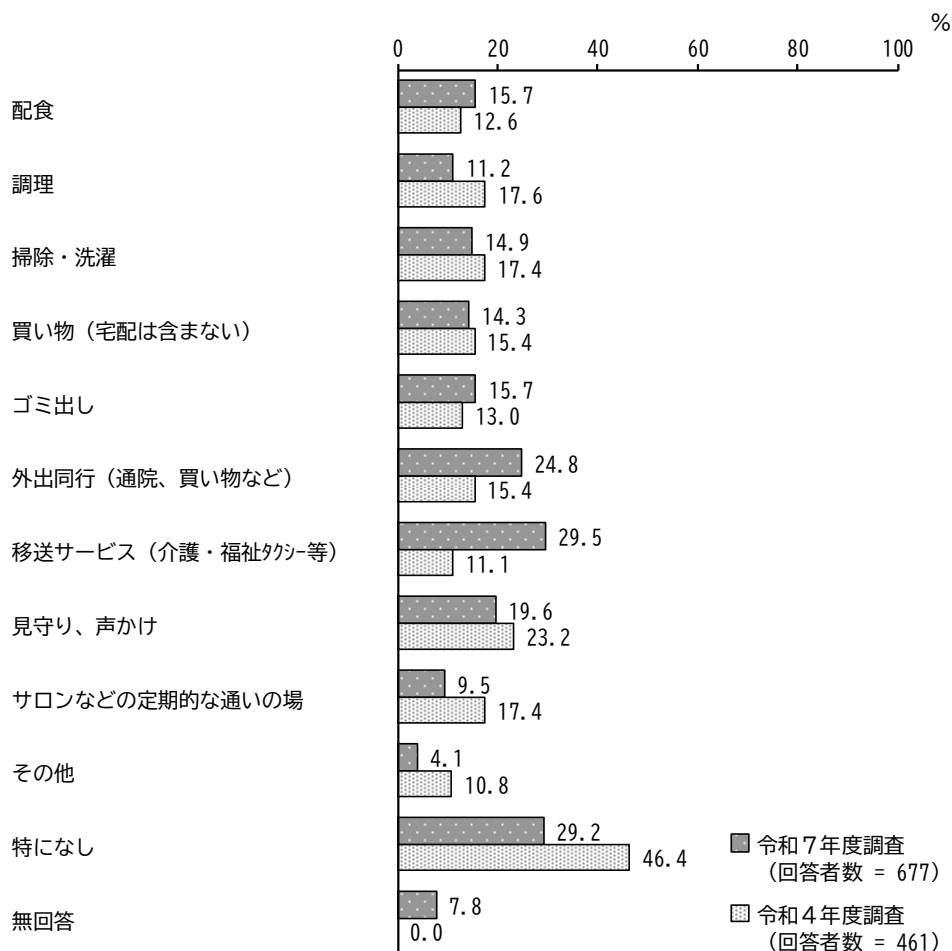
令和4年度調査と比較すると、「配食」「ゴミ出し」「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」の割合が増加しています。



問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が29.5%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」の割合が24.8%、「見守り、声かけ」の割合が19.6%となっています。

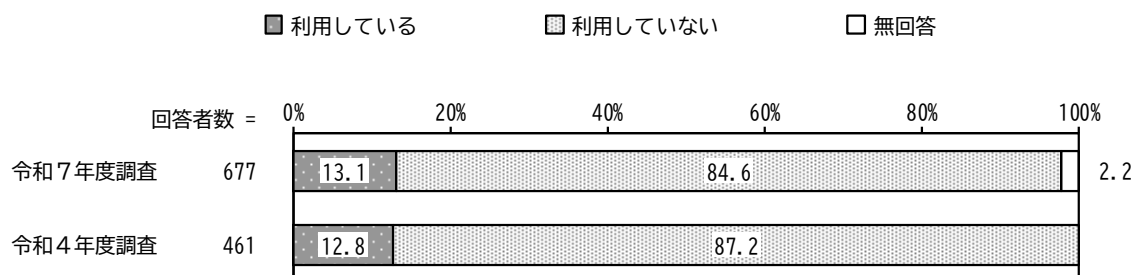
令和4年度調査と比較すると、「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が増加しています。一方、「調理」「サロンなどの定期的な通いの場」の割合が減少しています。



問9 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

「利用している」の割合が13.1%、「利用していない」の割合が84.6%となっています。

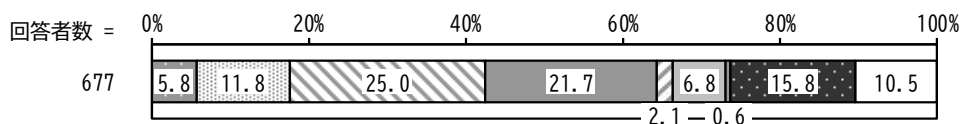
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 10 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。（1つを選択）

「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」の割合が25.0%と最も高く、次いで「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」の割合が21.7%、「認知症になっても、自分だけでは十分できないことは周りの人のサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活ができる」の割合が11.8%となっています。

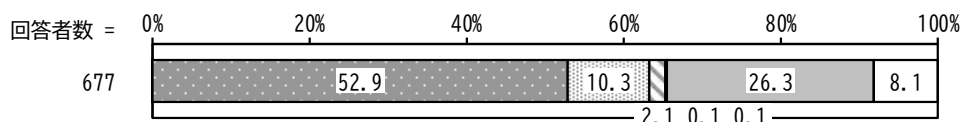
- ☐ 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
- ☐ 認知症になっても、自分だけでは十分できないことは周りの人のサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活ができる
- ☐ 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
- ☐ 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
- ☐ 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
- ☐ 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



問 11 2023年6月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法（以下、認知症基本法）」が成立し、2024年1月に施行されました。あなたは認知症基本法が成立したことや、その内容について、知っていますか（1つを選択）

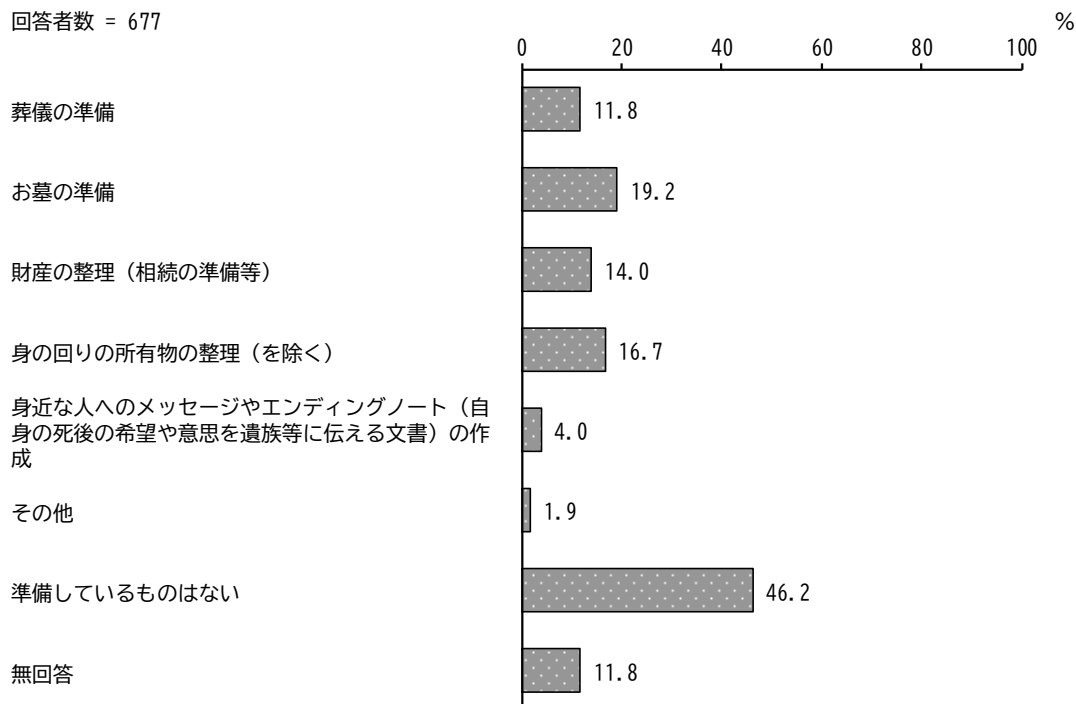
「認知症基本法が成立したことを知らない」の割合が52.9%と最も高く、次いで「認知症基本法が成立したことは知っているが、内容は知らない」の割合が10.3%となっています。

- ☐ 認知症基本法が成立したことを知らない
- ☐ 認知症基本法が成立したことは知っているが、内容は知らない
- ☐ 認知症基本法が成立したことを知っており、内容もある程度知っている
- ☐ 認知症基本法が成立したことを知っており、内容も詳しく知っている
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



問 12 今後の生活の中で準備をしているものはありますか。（複数選択可）

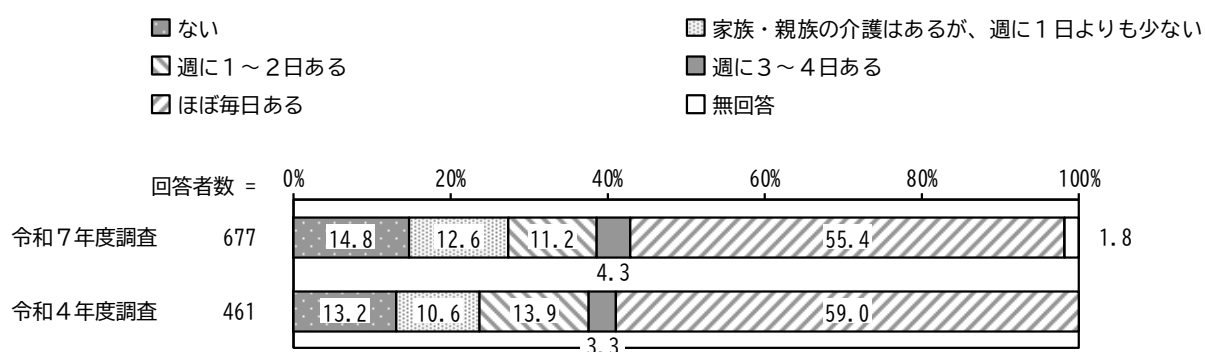
「お墓の準備」の割合が 19.2%と最も高く、次いで「身の回りの所有物の整理（を除く）」の割合が 16.7%、「財産の整理（相続の準備等）」の割合が 14.0%となっています。



問 13 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つを選択）

「ほぼ毎日ある」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「ない」の割合が 14.8%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」の割合が 12.6%となっています。

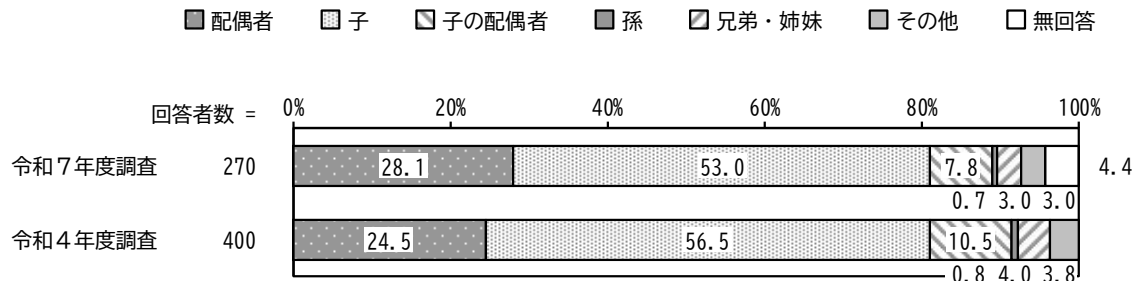
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



B票 主な介護者の方について

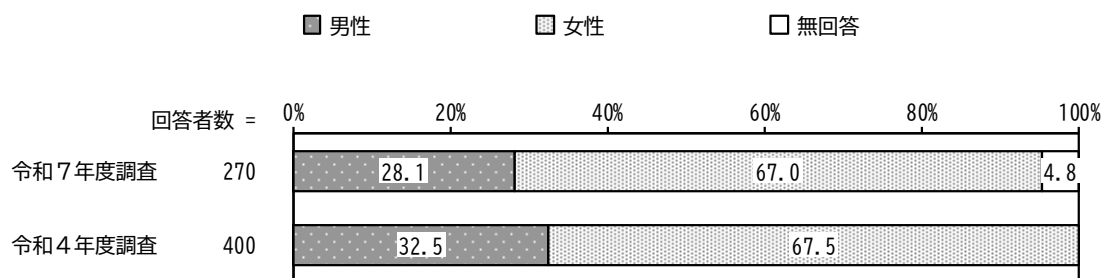
問1 主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）

「子」の割合が53.0%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が28.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



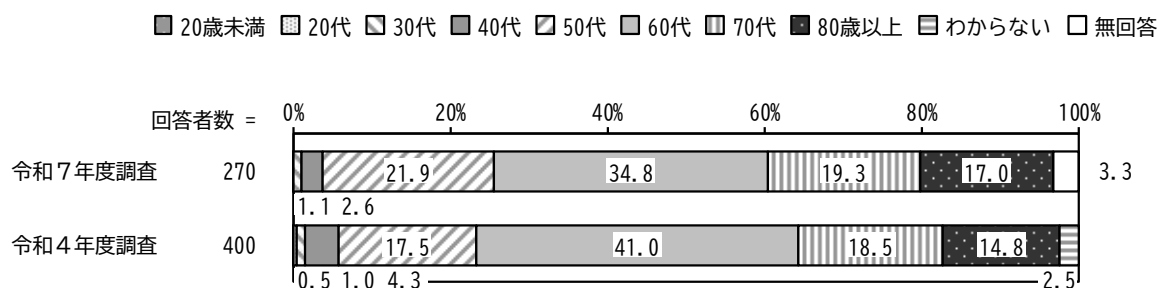
問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

「男性」の割合が28.1%、「女性」の割合が67.0%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）

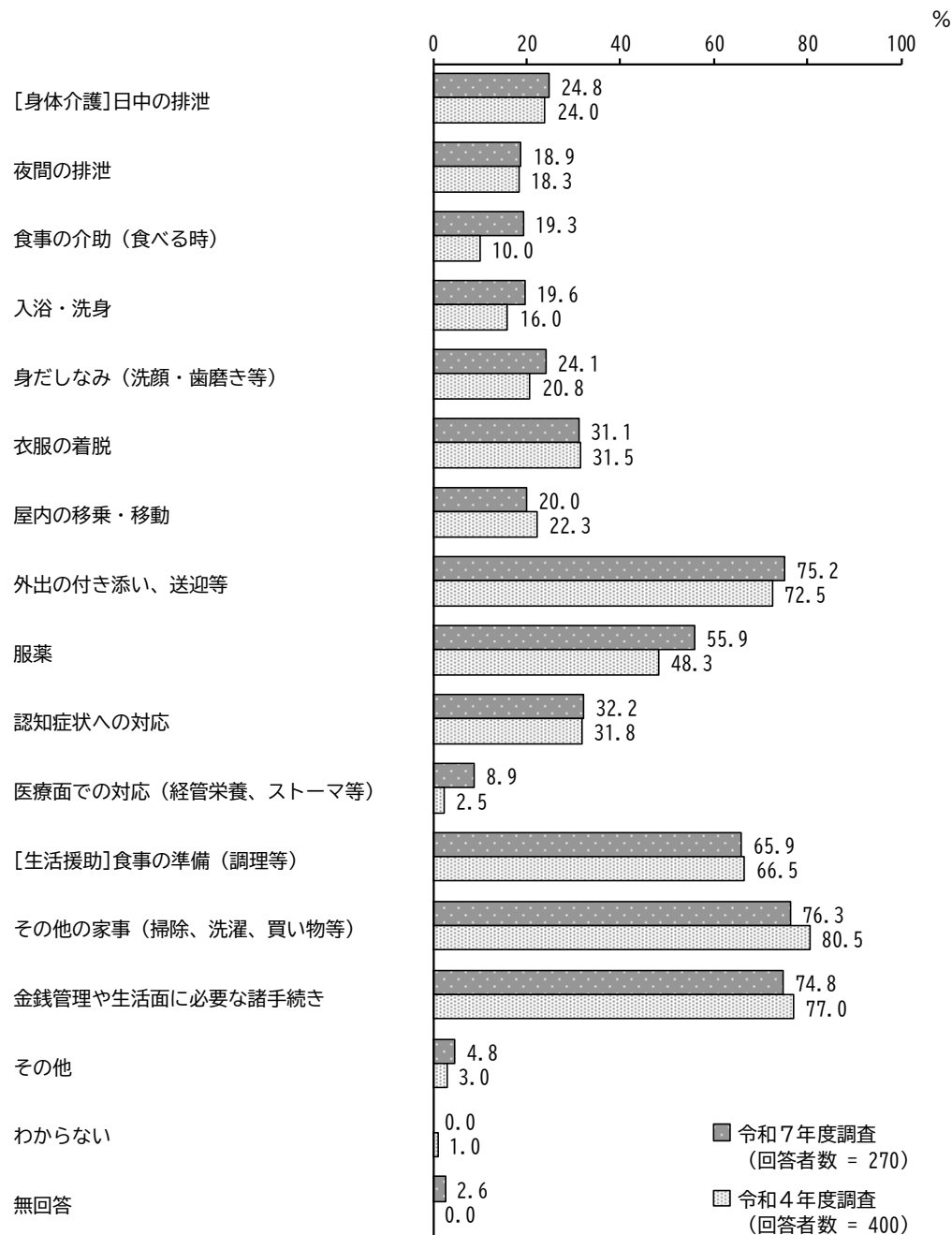
「60代」の割合が34.8%と最も高く、次いで「50代」の割合が21.9%、「70代」の割合が19.3%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「60代」の割合が減少しています。



問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が76.3%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が75.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が74.8%となっています。

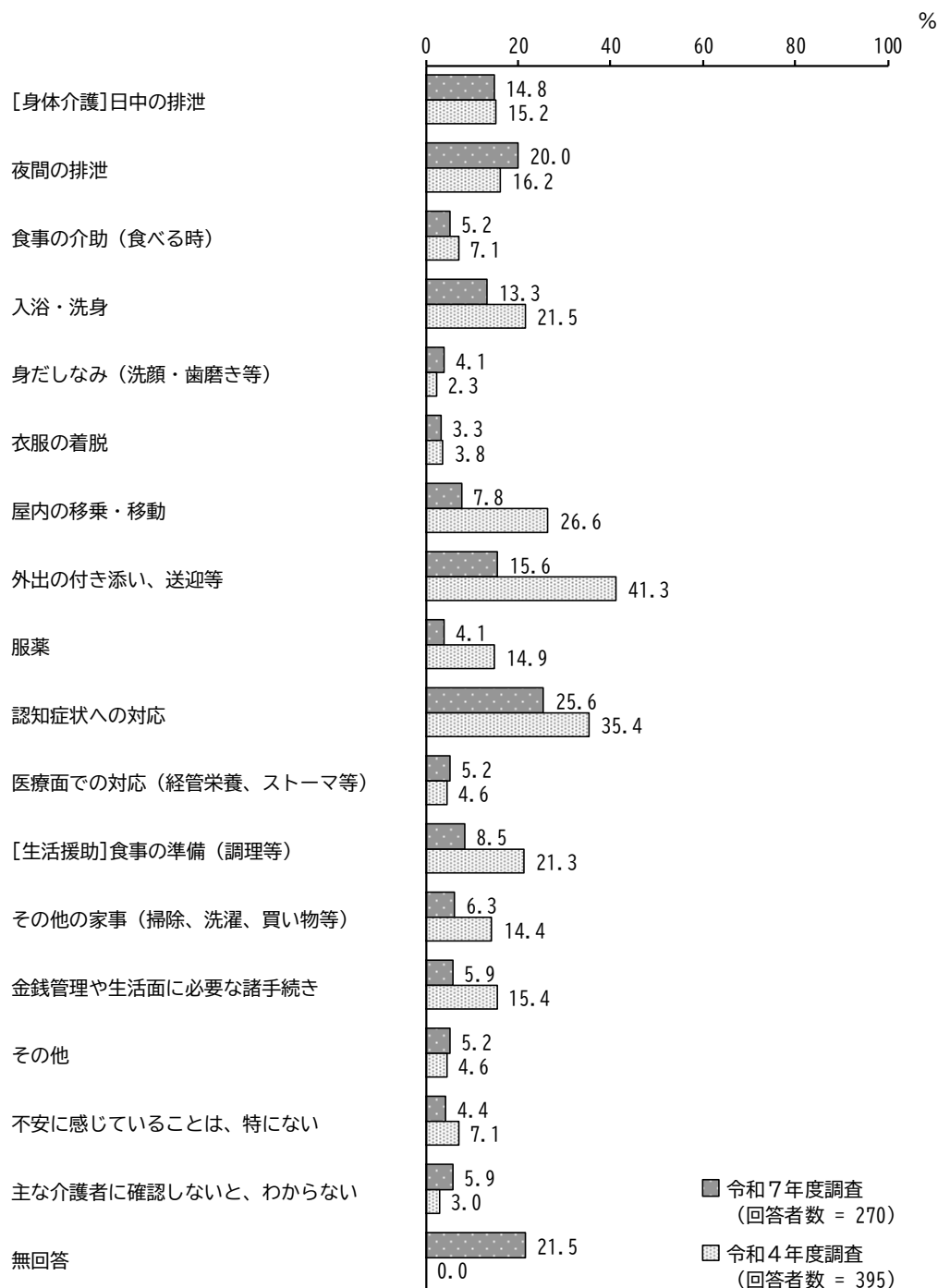
令和4年度調査と比較すると、「食事の介助（食べる時）」「服薬」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」の割合が増加しています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまで選択可）

「認知症状への対応」の割合が25.6%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が20.0%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が15.6%となっています。

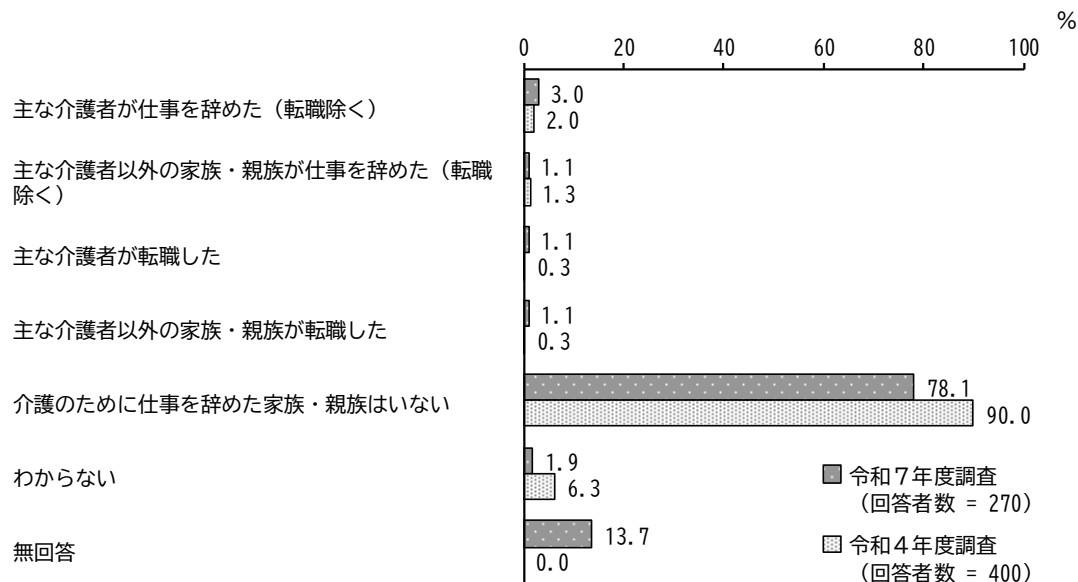
令和4年度調査と比較すると、「入浴・洗身」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「服薬」「認知症状への対応」「[生活援助]食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が減少しています。



問6 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（複数選択可）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が78.1%と最も高くなっています。

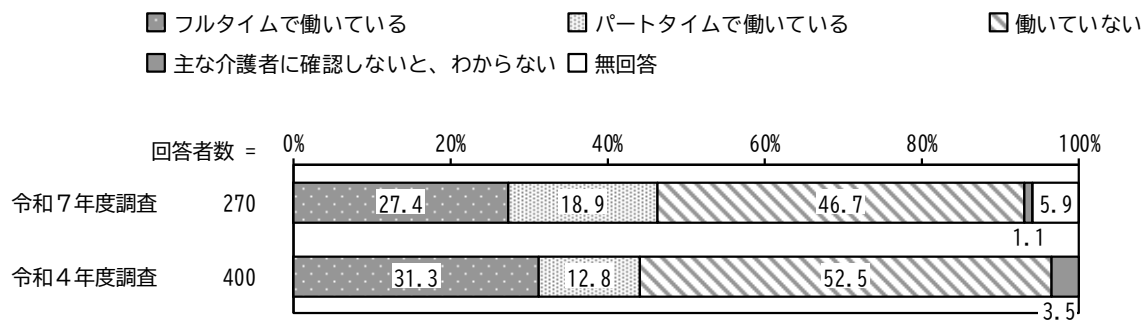
令和4年度調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が減少しています。



問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

「フルタイムで働いている」の割合が27.4%、「パートタイムで働いている」の割合が18.9%、「働いていない」の割合が46.7%となっています。

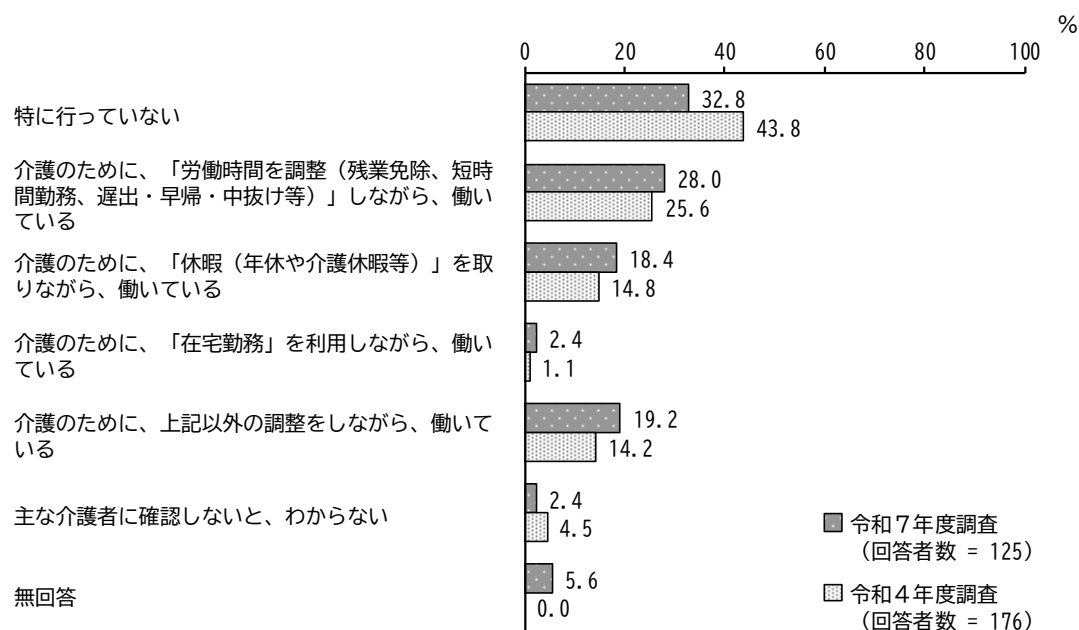
令和4年度調査と比較すると、「パートタイムで働いている」の割合が増加しています。一方、「働いていない」の割合が減少しています。



問8 問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。（複数選択可）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が28.0%と最も高く、次いで「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」の割合が19.2%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が18.4%となっています。

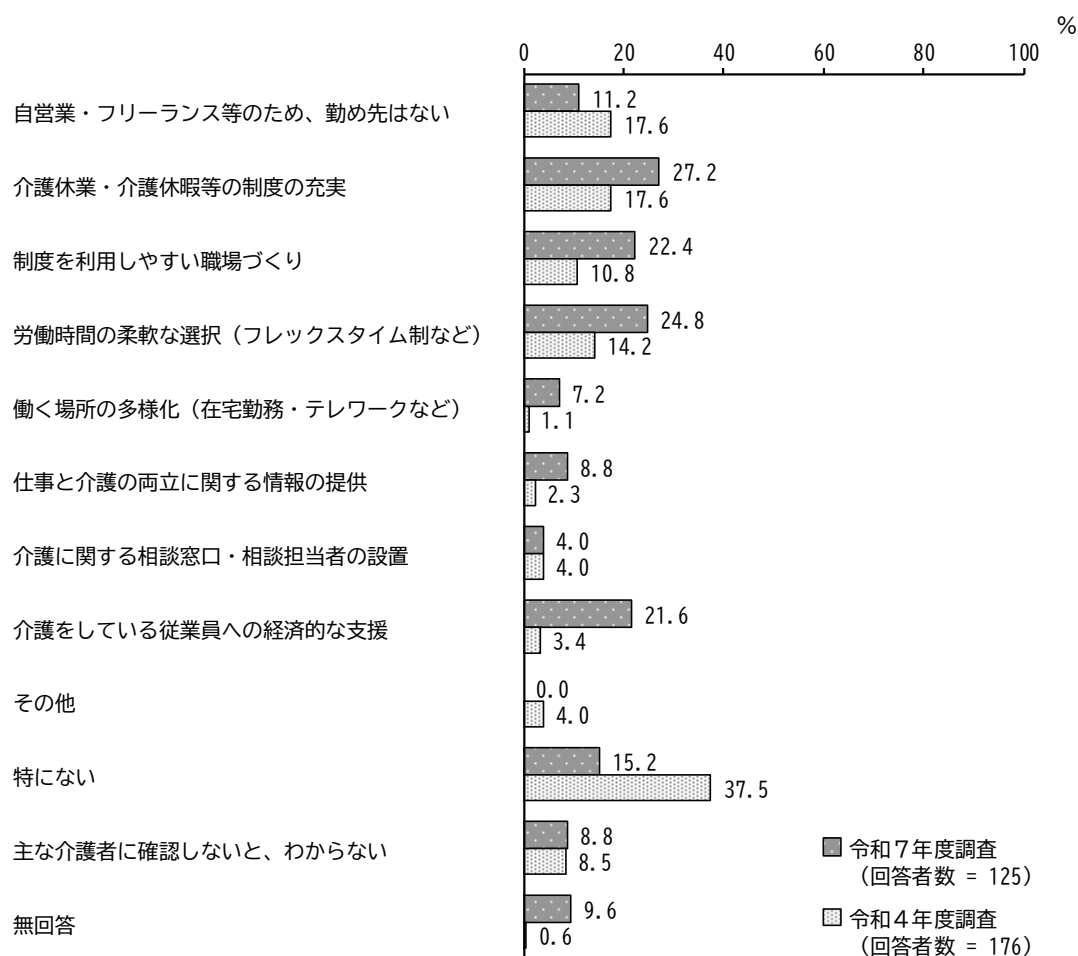
令和4年度調査と比較すると、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」の割合が増加しています。



問9 問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が27.2%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が24.8%、「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が22.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」「仕事と介護の両立に関する情報の提供」「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が増加しています。一方、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」の割合が減少しています。



問10 問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が61.6%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が17.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

